

令和元年度文京区アカデミー推進協議会第2回分科会(スポーツ)概要記録

日 時	令和元年12月2日(月) 18:30～20:30
会 場	文京シビックセンター3階 ホール会議室1
出 席 委 員	座長 青木 和浩 (順天堂大学教授) 井上 充代 堀 正孝 山内 豊
欠 席 委 員	酒井 宏
事 務 局	川崎スポーツ振興課長 日比谷オリンピック・パラリンピック推進担当課長 小菅スポーツ振興係長 青木施設等担当主査 池田オリンピック・パラリンピック調整担当主査 鈴木オリンピック・パラリンピック事業担当主査
資 料	資料1 令和元年度 スポーツ分野事業調査結果A 資料2 令和元年度 スポーツ分野事業調査結果B 資料3 平成30年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について 資料4 区民向け調査における分野別目標の満足度と重要度 資料5 平成30年度の事業に対する評価
(議事)	
1 開 会	
2 議 題	<p style="text-align: center;"><u>(1) 平成30年度の事業実施状況の点検と評価について (スポーツ分野)</u></p> <p style="text-align: center;"><u>①分野別目標3 スポーツ活動を支える環境の整備</u></p> <p>◎委員意見 ◆事務局説明</p> <p>資料1と資料3に基づき、分野別目標3 スポーツ活動を支える環境の整備における点検と評価について説明。</p> <p>◎事業の周知はどのようにしているのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>◆区報のほか、チラシやポスターを適宜作成している。今後は情報を必要としている人に確実に届くように、ターゲットを明確にしていきたい。</p> <p>◎スポーツ推進委員はすべての委員が積極的に活動している状況ではない。この点をどう解消していくか。</p> <p>◆推薦、公募で委員を募る段階で、どこまで活動できるかということを条件にはしていない。意欲のある人を募る方法を考えていきたい。</p> <p>◎他自治体でもすべての委員が積極的に活動できていないという話は聞く。募集の方法だけでなく、制度的な課題もあるということも考えていけるとよい。</p> <p>◎ボランティアの参加者からスポーツ推進委員を希望する人が出てくるとよい。</p> <p>◆スポーツ推進委員は任期があり、継続性も求めている。ボランティアはスポットでの参加が多い。その中からどのように意向を汲み上げていくかを考えられるとよい。</p> <p>◎指導者の育成・確保は今後も工夫しながら継続していけるとよい。大学等との連携は単発で終わることのないよう体系的に取り組んでいけるとよい。スポーツのボランティアはすそ野を拡大していく上で重要になるだろう。</p> <p>◎指導者やボランティアはどのような人が取り組んでいるのか。活動するにしても素</p>

地がある程度必要だろう。そのための人材育成の取組は行っているのか。

- ◆スポーツ推進委員は町会やPTAの推薦や公募で募っている。人材育成の講座はこれまでも開催してきている。
- ◎オリンピック・パラリンピックを契機に支えるスポーツへの関心は高まってきていると感じる。一過性のものとならないよう、レガシーの継承についても考えていけるとよい。
- ◎スポーツに関する情報発信は今の時代、発信すればよいという状況ではない。楽しむという観点で関心を喚起する方法を考えていけるとよい。

②分野別目標4 スポーツを通じた仲間づくりと交流

資料1と資料3に基づき、分野別目標4 スポーツを通じた仲間づくりと交流における点検と評価について説明。

- ◎カイザースラウテルン市長杯の参加チームが減少している要因は把握しているのか。また、ドイツとの交流が行われているのか。
- ◆区内で活動しているチームが少ないことや開催日程の影響があると考えている。今年度より、中学生大会は文京区内の社会人サッカークラブに開催していただくことになった。仕切り直して、分野別目標4の視点を具現化していきたい。ドイツとの交流は、事業開始当時はさかんに行われていたが近年は事業縮小により行っていない。
- ◎開催することを目的とせず、交流という観点で内容を充実していけるとよい。
- ◎分野別目標4は再掲となっている事業も多い。それだけ、ほかの目標にもかかわるということだと考えている。交流という視点で取組をさらに充実していけるとよい。
- ◎区民の求める交流も多様化してきている。行政としてどこまでできるかを考えていけるとよい。
- ◎計画全体にもいえることだが、事業の数が多くなっているということも考えられる。限られた予算のなかで何から取り組んでいくかということも考えていく必要があるだろう。

③横断的施策

資料3に基づき、横断的施策における点検と評価について説明。

- ◎現行計画策定時から考え方や状況が変わってきていることもある。分野をまたぎ、アカデミー推進計画の根幹となる取組を次期計画においても検討していけるとよい。
- ◎東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承について、広い視点をもって取り組んでいきたい。
- ◎情報発信について、区民が求める情報を的確に取得できるよう全体像を整理して

	<p>もよいかもしれない。</p> <p>◎区民のニーズが多様化する状況において、だれもが安全・安心してスポーツに取り組める機会を創出していくことが区の役割かもしれない。</p> <p>◎アカデミー推進計画は5つの分野に横串を通すことができるということが大きな特徴である。オリンピック・パラリンピック開催後もまちの資源を活かしていける施策を充実していけるとよい。</p> <p>(2)その他 特になし</p>
3 閉 会	<p>次回は1月20日(月)となっている。</p>